

富津市公民館運営審議会会議録

1	会議の名称	令和4年度第3回富津市公民館運営審議会
2	開催日時	令和5年1月26日(金) 午後2時00分～午後3時2分
3	開催場所	富津市中央公民館 多目的室
4	審議等事項	議題 (1) 令和5年度公民館主催教室・講座(案)について (2) 埋立記念館の活用方法について 報告 (1) 富津市民文化祭2022について (2) 令和5年富津市二十歳の集いについて
5	出席者名	○ 公民館運営審議会委員 細谷 憲一郎、渡邊 直樹、大河原 紀子、米村 志朗 田中 博子、石井 ひでみ、千明 洋子、溝口 久美子 池田 昌昭、川名 泰、石井 光一、當眞 嗣史 ○ 事務局 平野教育部長、樋口生涯学習課長、平野公民館長 岩田中央公民館係長、鈴木富津公民館係長、勝副主査 平野社会教育主事 ○ 指導員 伊藤社会教育指導員、和田社会教育指導員 竹谷社会教育指導員
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0人(定員 5人)
9	所管課	教育部公民館中央公民館 電話 0439(65)2251
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和4年度 第3回富津市公民館運営審議会 会議録

発言者	発言内容
(事務局) 平野公民館長	<p>午後2時00分 開会</p> <p>本日は、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 本日の会議を進行する公民館長の平野です。よろしく願いいたします。</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条第1項の規定により公開となりますので、後ほど会議録署名人2名を決めていただきます。また、会議録作成のため、会議中の録音をしますのでご了承ください。</p> <p>本日の出欠状況は、出席委員12名、欠席委員3名です。 出席委員が過半数となりますので「富津市公民館及び市民会館の設置及び管理等に関する条例施行規則」第31条の規定により、会議は成立します。</p> <p>それでは、ただいまより令和4年度第3回富津市公民館運営審議会を始めます。 次第に従いまして、委員長あいさつということで、川名委員長よりお願いします。</p>
川名委員長	《委員長挨拶》
(事務局) 平野公民館長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議題に入りますが、川名委員長を議長として議事進行をお願いいたします。</p>
(議長) 川名委員長	それでは議題に入る前に、会議録署名人2名の選出ですが、慣例により、委員長から指名することよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
(議長) 川名委員長	<p>それでは、会議録署名人は渡邊直樹委員と大河原紀子委員にお願いします。</p> <p>それでは議題に入ります。</p> <p>議題(1)「令和5年度公民館主催教室・講座(案)について」を議題とします。事務局より説明願います。</p>
(事務局) 岩田中央公民館係長	<p>それでは、説明いたします。資料1ページをご覧ください。</p> <p>前回の会議で報告しました、3館での講座・教室に関するアンケートを基にしまして、「令和5年度3館主催教室・講座(案)」を作成しました。</p>

	<p>まず、資料左側の富津公民館につきましては、1番から10番が今年度からの継続、11番から17番が新規、その下の網掛けをしてある5講座が今年度をもって終了予定となっております。</p> <p>続いて、真ん中の中央公民館につきましては、1番から10番が今年度からの継続、11番から14番が新規、その下の網掛けをしてある4講座が今年度をもって終了予定となっております。</p> <p>続いて、右側の市民会館につきましては、1番から11番が今年度からの継続、12番から14番が新規、その下の網掛けをしてある4講座が今年度をもって終了予定となっております。</p> <p>継続と終了の判断基準につきましては、実施年数や、公民館主催の教室から自分たちで運営するサークルへ移行する見込み、受講希望の人数や講師の都合などから判断しております。</p> <p>新規の講座は、アンケートを参考にしておりまして、資料3ページをご覧ください。</p> <p>資料3ページから6ページがアンケートでの要望内容ですが、要望の多かった内容順に掲載しており、3ページの上から、「歴史教室」、「料理教室」、「健康教室・健康体操」が要望の上位3つでございました。</p> <p>その他、資料で網掛けをしている要望内容につきましては、令和5年度の講座（案）で検討しております。</p> <p>現在はまだ案の段階でございまして、講師の選定や内容の詳細、実施時期や回数などを含めて検討中でございますので、次回3月の公民館運営審議会で正式決定となるものを改めて皆様にお示しする予定でございます。</p> <p>事務局からの説明は以上となります。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局からの説明が終わりましたが、資料を読んでいただき、皆さまより質問等があればお願いします。</p> <p>資料の網掛けをしている要望内容について、もう一度、説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 岩田中央公民館係長</p>	<p>網掛けをしている要望内容は、資料1ページにある講座案の基になっております。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>網掛けをしていない要望内容も掲載していますね。</p>
<p>(事務局) 岩田中央公民館係長</p>	<p>参考意見ということで掲載しております。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>網掛けをしていない部分でも実施したほうが良いなど、アンケートをご覧になっての疑問や意見はありますでしょうか。</p>

池田委員	市民会館の13番「ニュースポーツ」はどのようなことをやりますか。
(議長) 川名委員長	ニュースポーツについて説明をお願いします。
(事務局) 岩田中央公民館係長	比較的近年に誕生した様々な競技で、ニュースポーツと呼ばれているものがございます。例えば、最近ですとモルックという競技などがございます。 そのようなニュースポーツを体験する講座になっております。
渡邊委員	モルックについて説明させていただきます。 この競技は、青少年相談員連絡協議会や佐貫地区社会福祉協議会のイベントで実施しています。 番号が書かれた円柱状の木のピンをボウリングのように並べ、ピンと同じような円柱状の木を投げて倒し、得点を得ます。点数は競うのではなく、設定した点数に近づける競技です。 ピンは全部で12～15本あり、複数を倒せばその本数分が、1本だけ倒せばそのピンの数字が得点になりますが、倒されたピンは転がったその場所に立て直します。 そのように進めていき、設定が50点なら50点に近づけていって、あと10点という場合は「10」と書かれたピン1本を倒すか、10本倒すかという戦略を考えるゲームです。 設定した点数をオーバーした場合は、点数を減らしたりして、いかに設定した得点に近づけるかというヨーロッパ発祥のスポーツです。
千明委員	投げる距離はどれくらいでしょうか。
渡邊委員	自分達が発行したときの距離は、子ども達に投げてもらいましたので、1mくらいでやりました。 大人がやる場合は5mくらい離したと思います。 最近、テレビでも取り上げられたり、千葉県にも正式ではないですが、世界大会を目指すサークルや団体があります。
(事務局) 岩田中央公民館係長	モルックの他にもドッジビーというニュースポーツなど、様々な競技を実施していく予定です。
當眞委員	公民館・市民会館ともに、新規の講座が増えて、公民館の心意気を感じます。 富津公民館では17講座中7講座が新規の講座で、講師はどのような方で実施するのかということもありますし、初めての講座・事

<p>(事務局) 平野社会教育主事</p>	<p>業となると難しいという部分もあり、人集めが大変なところもあると思います。</p> <p>また、中央公民館でも 14 講座中 4 講座が新規、市民会館でも 14 講座中 3 講座が新規ということで、例年新規講座が 1 つ～ 2 つだったものが、かなり頑張っていると思います。</p> <p>その中で、「親子防災教室」はどのような内容なのか教えてください。</p>
<p>(事務局) 平野社会教育主事</p>	<p>「親子防災教室」の概要について説明させていただきます。</p> <p>富津市では「富津市みらい構想」というものを作成しておりまして、その中の重点テーマとして「安全、安心なまちづくり」というテーマを定めています。</p> <p>既に市が取り組んでいるものとして、防災安全課では、自主防災組織の設立や防災コーディネーター養成講座を開催したりして、地域防災の幹となる人材の育成をしているところです。</p> <p>一方で、中心となる人だけを育てるのではなく、一般の住民を対象にして、防災意識の高揚を図るために、この講座を設定しました。</p> <p>内容は、小学生・中学生と保護者の親子を対象とし、この講座は 2 回実施を予定しています。1 回目は、防災安全課の職員を講師としてハザードマップなどの見方を学び、親子で自分たちの家の周りの危険な場所や避難経路の確認を体系的に学習していただき、非常食の試食も予定しています。2 回目は未定ですが、千葉県や東京都にある防災センターのような施設を見学して地震を体験してもらい、防災に関する知識を広められるような講座を予定しています。</p>
<p>當眞委員</p>	<p>この教室は夏休みに実施しますか。</p>
<p>(事務局) 平野社会教育主事</p>	<p>夏休みに実施しますと、ちょうど台風のシーズンと重なってしまうため、防災安全課の職員が対応できないと聞いていますので、夏休み以外での実施を予定しています。</p>
<p>(事務局) 平野館長</p>	<p>親子で参加する教室ですので、土曜日か日曜日の開催を予定しています。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>公民館としては、委員の皆様には講座の宣伝をしてもらいたい部分もあると思いますので、気になる部分について質問をお願いします。</p>
<p>石井（ひ）委員</p>	<p>各館で実施する予定の「ホップステップ富津」はどのような内容でしょうか。</p>
<p>(事務局) 鈴木富津公民館係長</p>	<p>この教室は、就学前の子どもと保護者を対象に、音楽や体操、読み聞かせ等を通して表現教育の場の提供や同世代のコミュニケー</p>

	<p>ション力を育むことを目的にしています。</p>
<p>(事務局) 平野公民館長</p>	<p>NHKの「おかあさんといっしょ」という番組をイメージしていただければと思います。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>石井ひでみ委員、よろしいでしょうか。</p>
<p>石井(ひ)委員</p>	<p>はい。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>他に質問や意見はありますか。 意見を言ってもらえれば、検討や修正をしていただければと思いますし、意見がない場合はその案のまま検討すると思いますので、意見等を出していただきたいです。</p>
<p>池田委員</p>	<p>「園芸教室」が富津公民館と中央公民館で廃止ということになっています。講師が高齢ということもありますが、その代わりになる講座は実施しますか。 両館とも受講者は多かったと思いますが。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>園芸教室に代わる講座は実施する予定はありますか。</p>
<p>(事務局) 平野公民館長</p>	<p>園芸教室については、講師が体調不良により入院しておりまして、今月からまた再開はしましたが、次年度からは難しいということでしたので、両館とも廃止としました。</p>
<p>米村委員</p>	<p>私も園芸教室を受講しています。講師の都合ということでしたが、可能であればサークル化すればいいと思います。 私は、園芸教室を2年受講していますが、一般人のレベルと講師のレベルの差が大きくて、講師の役割ができるプロがいないと厳しいものはあると思いますが、公民館の役割としては、主催事業から受講生によるサークル化に繋げることだと思いますので、池田委員にサークル化への旗振り役をしていただきたいです。</p>
<p>池田委員</p>	<p>それが公民館主催事業の目的ですよ。</p>
<p>米村委員</p>	<p>たしか、中央公民館では昨年度から始まって2年目ですが、富津公民館では倍くらいの年数を実施していますので、何か繋がる方法を模索できればいいと思います。</p>
<p>(事務局) 平野公民館長</p>	<p>そのあたりは講師と相談しないと難しいと思います。</p>

米村委員	富津公民館に「コーヒー講座」があります。楽しそうですが、若者が参加できるような内容ですか。内容を教えてください。
(事務局) 平野公民館長	この講座は、今年度に市民会館でも開催していきまして、富津公民館周辺の方から要望がありまして、富津公民館でも開催するものです。
米村委員	<p>アンケートに回答者の年齢層の項目がありますが、60歳代から80歳代以上の構成比を合計すると80.6%になって、若者の回答率が少ないので、「ホップステップ富津」や「親子防災教室」等の次世代を担う若者向けの講座のアピールすることが難しいと思います。</p> <p>富津市は、公民館を中長期的にどのように捉えていますか。</p> <p>アンケートの年齢を見てみると、20歳代までの回答率が6%弱で、富津市の人口が減っていくと、公民館の役割が終わってしまうと思います。</p> <p>今日のこの部屋を見ても10年は変わっていないので、市の未来像や公民館のあるべき姿がどうなっているのか、公民館運営審議委員をやっていますが、さっぱり見えません。</p>
(議長) 川名委員長	この年齢比率はアンケートに答えてくれた人の割合ですね。
米村委員	<p>そうですね。</p> <p>しかし、アンケートに答えてくれるのは、前向きだと思います。嫌なものは答えもしてくれませぬので、貴重な意見だと思います。反応してくれるのは、少しでも期待があるからではないでしょうか。</p> <p>これだと、人口減少に比例して公民館利用者も減少していくので、どこかで歯止めをかける視点があるのかわかりませぬ。</p>
(議長) 川名委員長	<p>公民館は公民館の目的に沿って様々な事業を実施していくと思いますので、人口の増減については公民館では触れることができない感じはします。</p> <p>以前から公民館が苦勞している、退職前の現役世代の人にも参加してもらおうという試みは、前向きに検討して進めてもらいたいです。</p> <p>平野教育部長から意見はありますか。</p>
(事務局) 平野教育部長	<p>皆様方に昨年度、公民館運営審議会と社会教育委員会議で「公民館のあり方」を市に提言していただき、これに基づいて個別計画を検討してきたところです。</p> <p>しかしながら、皆様ご存じのとおり、様々な箇所が老朽化してお</p>

	<p>り、学校施設やその他施設との調整を取りながら進めるとなると、新しいものはなかなか難しい状況がありましたので、新たな試みとして紙媒体やデータでのアンケート調査を進めてきたところです。</p> <p>これで終わりというわけではなく、今考えられることとして、公民館運営審議会の中での提案でしたり、社会教育委員からも「古いものではなく、新しいものを考えないといけない。」という意見もありますので、今後進めさせていただくため、その切り口として新規事業を計画しました。</p> <p>温故知新だと思いますので、利用者が多いものはさらに深めていき、若年層の方にも対応できるようにしていきたいという思いで、事業計画を検討しております。</p> <p>人口の減少については、人が来てくれるような体制作りをする必要があると思いますので、これからも公民館に対してのニーズ調査など、様々な取り組みを進めていきたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>公民館の利用者を増やしていくための最初の一步だと思いますので、新しい教室・講座を増やしていき、人が集まる仕組みを作るのが最初の一步だと思っています。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>石井 (ひ) 委員</p>	<p>中央公民館の「ホール照明講座」についてですが、照明を操作できる人が少なく、サークルでホールを利用するときは公民館職員に操作の説明をしていただいています。</p> <p>「ホール照明講座」を実施するのであれば、若い人達は休日は来ないと思いますが、平日の夜であれば参加しやすいと思いますので、検討していただければと思います。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>夜に開催すれば若い人達も参加する機会が増えるのではないか、という意見でした。</p> <p>職員の配置も難しいと思いますが、検討していただきたいです。</p> <p>それでは、他に質問が無いようですので、質疑を終わらせていただきます。</p> <p>議題(1)「令和5年度公民館主催教室・講座(案)について」は、承認ということで異議ございませんか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは続きまして、議題(2)「埋立記念館の活用方法について」を議題とします。</p> <p>事務局より説明願います。</p>

<p>(事務局) 鈴木富津公民館係長</p>	<p>議題（２）「埋立記念館の活用について」をご説明します。</p> <p>富津埋立記念館は、富津沖の埋立を記念し、埋立及び海浜地域に栄えた漁業関係資料を展示することで、市民の教養及び文化の向上に資するため、平成５年に開館した施設です。また、漁業関係資料の展示のほか、公民館同様に部屋の貸出も行っています。</p> <p>しかし、施設の老朽化や専門的職員の不在などの課題を抱えており、施設の在り方、活用方法について考え直す契機を迎えています。</p> <p>この会議に先立ちまして、富津公民館の主催講座であります「東京湾学講座」の受講生にアンケートを行ったところ、「古墳をはじめとした文化財展示もすることで来館者が増えると思う」「富津は昔から漁業で栄えた地域で、漁業関係資料を展示することは大切なことなので、できれば残して欲しい」「新しくできる図書館に埋立記念館のPRコーナーを設けたらどうでしょう」などのご意見がありました。</p> <p>つきましては、公民館運営審議会の本旨とは異なると思いますが、令和３年度に教育委員会が策定した「公民館のあり方」において、「埋立記念館は今後の活用について検討する」としているため、委員の皆さまからご意見いただきたくお願い申し上げます。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは、事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ご存じかもしれませんが、埋立記念館は富津公民館に隣接する施設で、モダンな形をしている建物になっています。</p> <p>資料を読んでいただき、皆様より質問等があればお願いします。</p>
<p>當眞委員</p>	<p>私も、富津市役所職員の時代に色々関わってきました。</p> <p>埋立記念館につきましては、埋立を記念し、過去に使用されていた漁業資料等の展示をしており、コロナ前は毎年 1,500 人～2,000 人が来館されていた実績があります。</p> <p>近くに同じような目的で建設された君津市漁業資料館がありますが、来者数は 1,000 人前後で、埋立記念館より少ない状況です。</p> <p>来館者も、川口市の 5 年生が臨海学校で来た際に古墳や埋立記念館を見学しており、他の市の小学生は埋立記念館を知っているけれど、富津市の小学生が知っているのかというところがあるので、学校での状況を教えていただきたいです。</p> <p>例えば、地域について知る学習を 4 年生か 5 年生で行うと思いますが、地域のことを学ぶ場として大切な施設だと思いますので、残した方がいいと思います。</p> <p>学校の現場では、そういった施設が遠足等の目的地になっているのでしょうか。</p>
<p>細谷委員</p>	<p>3 年生と 4 年生で「富津市を知る」ということで、市役所に行ったり、富津岬に行ったり、鋸山に行ったりする計画を立てることは</p>

	<p>多いです。</p> <p>その中で、埋立記念館を見学の計画に入れるかがポイントになってきますが、そうすると、子ども達ではなく教職員がどれだけ埋立記念館について理解しているのかというところが大事になってきます。教職員が良いと思えば、埋立記念館も見学コースに入ってくるとは思いますので、教職員の認知度を上げていけば、子ども達にも広がり、富津市のことを知る機会が増えると思います。</p> <p>夏休みに教育センター主催で「富津市の良さを知る」という研修を教職員向けに実施しますが、そういった研修でも埋立記念館を入れていただけると、教職員も知る機会が増えると思います。</p>
<p>池田委員</p>	<p>この前、富津公民館に行った際、東京の小学生がバスから降りてきたので、「どこに行くの。」と尋ねたら「埋立記念館です。」と答えくれました。</p> <p>午前と午後に分けていたかは分かりませんが、2班に分かれており、1班が埋立記念館で説明を受けている時は、2班が海苔すき体験をするという形をとっていました。</p> <p>そのように海苔の養殖について学習しているのと思いますので、富津市の小学生もやってみたらいいと思います。</p> <p>海苔だけではなく牡蠣の養殖も始まりましたので、そのような資料の展示や、富津の漁業を知ることのできる講座も考えていただきたいです。</p> <p>公民館の今後のあり方にも「埋立記念館は当面、維持する」ということで「今後の活用について検討する」とありますので、細谷委員もおっしゃっていましたように、学校にもPRしながら色々な取り組みをしていただきたいです。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>小学校がメインとなると思いますが、学校ごとに特色ある活動として、南にある学校では実際に漁船に乗って漁業を体験したりしており、海苔の養殖が盛んな富津市であれば海苔の産業について学ぶ場所が埋立記念館だと思います。</p> <p>全ての学校に来てもらうことは難しいと思いますが、近くの学校の子ども達にはぜひ学んでいただき、富津市全ての学校で興味をもっていただければ助かると思います。</p>
<p>千明委員</p>	<p>私が富津市に引っ越してきて約10年ですが、地域の事を知るために歴史探訪講座をはじめに受講しました。</p> <p>その講座で初めて埋立記念館に連れて行ってもらい、埋立記念館の存在を知りました。</p> <p>今の話では、子どもを連れて行くという話で、それも大切だとは思いますが、私みたいに埋立記念館を知らない大人も多くいるので、公民館の講座で取り入れていただければ、色々知ることができると思います。</p>

<p>石井（ひ）委員</p>	<p>埋立記念館は、文化祭でスタンプラリーのルートになっていて、その流れで海苔すき体験を開催していますが、人数の関係で海苔すき体験ができない子ども達もいるので、定期的に海苔すき体験ができる行事を検討していただきたいです。</p>
<p>（議長） 川名委員長</p>	<p>学校だけでなく、青少年相談員でも埋立記念館を有効に活用していただければと思います。</p> <p>青堀駅の前にも古墳があり、「古墳のまち富津」という感じがしますが、そういったことを知らない人も多いと思いますので、埋立記念館と古墳を合わせて、青少年相談員や学校で広めていただければと思います。</p>
<p>米村委員</p>	<p>私は、埋立記念館を月1回利用させていただいていますが、非常に地味だと思いました。</p> <p>冒頭の説明でもありましたが、埋立記念館の課題として「特定目的の記念館であるため、大規模な展示の変更は難しい。」とあります。</p> <p>建設当時は、埋立記念館というネーミングも良かったかもしれませんが、埋立を知らない市民にとってはピンとこないと思います。</p> <p>先ほど海苔すき体験を行事として行うという意見もありましたが、埋立記念館で行えれば、最高だと思います。</p> <p>そういった市民の意見を取り入れられるような委員会を立ち上げて、東京湾学講座の受講者、市民、公民館職員等が委員となり、委員自身も基礎的な理解を深めていけるような場をつくっていただき、1年以内に市に提案できるようなになれば良いと思います。</p> <p>埋立記念館の場所も、富津公民館は道路の直線上に見えて分かりやすいですが、埋立記念館の入り口は、小さい看板があるだけなので分かりにくいです。</p> <p>看板を含めて委員会が提案をして、ネーミングを変えるところまで踏み込めれば良いと思います。知らない人に知ってもらうには、地味だと思います。</p> <p>良い施設ですので有効活用できればと思います。</p>
<p>（議長） 川名委員長</p>	<p>特定目的の記念館とありますが、それは補助金の関係ですか。</p>
<p>（事務局） 平野公民館長</p>	<p>もともと漁業をやっていた方々への埋立補償金を頂いて、建物を建設しました。</p> <p>管理は市が行っておりますが、現在も、その方々からの補償金を基金として維持管理をしていますので、そこが難しいところです。</p> <p>その方と話し合っ、公民館運営審議会での意見を事務局で取りまとめて報告をしてまいりますので、今後の公民館運営審議会でも</p>

<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>話し合っていきたいと思います。</p> <p>大きな看板を作れば埋立記念館に興味を持っていただけるという意見もありましたので、検討していただければと思います。</p> <p>それでは、質問等が出尽くしたと思いますので、質疑を終了しまして、議題(2)「埋立記念館の活用方法について」は、本日の意見を参考に今後検討するという事で異議ございませんか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>川名委員長</p>	<p>それでは、以上をもって議題を終了いたします。</p> <p>続きまして報告に入りますが、報告(1)と(2)は事務局よりまとめて報告していただき、その後に質疑に入りたいと思います。</p> <p>まず、報告(1)「富津市民文化祭2022について」を報告願います。</p>
<p>(事務局) 勝副主査</p>	<p>それでは、報告(1)富津市民文化祭2022についてご説明いたします。資料の8、9ページをご覧ください。</p> <p>富津市民文化祭2022を令和4年10月28日から30日の3日間にかけて開催したところ、富津公民館、中央公民館、市民会館の3館で小中学校音楽のつどいを開催した1日目は1,550人、市民会館で芸能祭、中央公民館で将棋大会を開催した2日目が1,404人、中央公民館で芸能祭、富津公民館で子どもまつり、市民会館で囲碁大会を開催した3日目が5,850人、各館の体験コーナーに参加された方が322人で、コロナ禍での開催ということもあり、前回開催しました富津市民文化祭2019からマイナス4,173人と、大きく参加者数が減少したものの、9,126の方に富津市の文化芸術活動に触れていただく機会を提供できた結果となりました。</p> <p>また、参観者アンケートを実施したところ「3年ぶりの開催を楽しみにしていた」「ようやく日常が取り戻せた様で嬉しい」「大人から子どもまでどれも素晴らしく感動した」といった声がありました。</p> <p>一方で「3年間のブランクも影響したのか模擬店や展示品の出店数が減少してしまったことは寂しく感じた」「広報にもっと力を入れてほしい」などといった意見がありました。</p> <p>いただいたアンケートの感想、意見や実行委員等から挙げられた反省点につきましては、今後の富津市民文化祭の運営に活かしてまいります。</p> <p>以上で報告を終わります。よろしく願いいたします。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは、続きまして報告(2)「令和5年富津市二十歳の集いについて」を報告願います。</p>

<p>(事務局) 鈴木富津公民館係長</p>	<p>報告(2) 令和5年富津市二十歳の集いの開催結果についてご説明いたします。</p> <p>開催概要については、前回会議時にご説明いたしましたので、開催要項の配布をもってかえさせていただきます。</p> <p>参加者数ですが、二十歳の方は対象 410 名のうち 285 名が出席し、割合としては、69.5%と例年並みでした。</p> <p>これに来賓3名、招待者 36 名、家族などの一般 176 名を加え、合計 500 名が出席しました。</p> <p>なお、主催者と事務従事者は含めておりません。</p> <p>公民館運営審議会委員の皆様におかれましては、以前は事務従者や招待者として式典に携わっていただいておりますが、コロナ禍を契機に招待者の見直しを行い、委員長のための招待とさせていただきます。</p> <p>次回以降も委員長のみの招待を検討しておりますので、ご承知おきください。また、希望される場合は、一般枠として出席できます。</p> <p>なお、公民館運営審議会だけでなく、区長・校長会・社会教育委員なども招待者を代表者のみに変更しています。</p> <p>当日の様子ですが、富津市ホームページに1月11日付けで公開しておりますので、そちらをご覧ください。</p> <p>以上で説明を終了します。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは、事務局からの報告が終わりましたが、皆さまより質問等があればお願いします。</p> <p>私も、公民館運営審議会委員長として出席をしました。</p> <p>実行委員会形式での開催でした。</p>
<p>石井(光)委員</p>	<p>昔のように、荒れることはありましたか。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>会場にお酒を持ち込んだり、舞台上がるような人はいなくて、和やかな雰囲気で行われていたと思います。</p> <p>それでは、他に質問等はないようですので、質疑を終了しまして、報告(1) 富津市民文化祭 2022 について、報告(2) 令和5年富津市二十歳の集いについては、以上とします。</p> <p>それでは、以上で本日の議題・報告は終了となりますが、各委員や事務局から、その他連絡事項はございますか。</p>
<p>(事務局) 岩田中央公民館係長</p>	<p>事務局より連絡事項が4点ございます。</p> <p>まず、1点目ですが、次回の会議日程につきましては、会議次第の右下にありますとおり3月23日(木)に中央公民館で午後2時から行いますので、ご出席のほどお願いいたします。</p> <p>2点目ですが、この3月末をもって、公民館運営審議会の委員任期2年が満了となりますが、場合によってはいろいろとご相談させ</p>

	<p>ていただくかと思しますので、よろしくお願いたします。</p> <p>3点目ですが、資料13ページをご覧ください。</p> <p>昨年も実施しました、4市の君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会と君津地方公民館連絡協議会の合同研修会が2月10日(金)に木更津市立中央公民館で行われます。</p> <p>講師として、千葉大学名誉教授の長澤成次氏をお招きして、「改めて、公民館運営審議会を考える」というテーマでの研修会を行いますので、ぜひご参加いただければと思います。</p> <p>つきましては、期間が短く大変申し訳ございませんが、出欠席を1月29日、今週の日曜日までに中央公民館までご連絡をお願いいたします。</p>
<p>渡邊委員 (事務局) 岩田中央公民館係長</p>	<p>合同研修会の通知は、これが初めてですか。</p> <p>これが初めての通知になります。 最近、事務局から連絡がありました。</p>
<p>渡邊委員 (事務局) 平野公民館長</p>	<p>開催日まで日程が短すぎて調整ができません。</p> <p>木更津市が幹事市として調整していましたので、すぐに通知ができませんでした。</p>
<p>(事務局) 岩田中央公民館係長</p>	<p>大変申し訳ありませんでした。 最後、4点目ですが、資料の15ページをご覧ください。 こちらは既に皆さまより出欠報告をいただいておりますが、1月29日、今週の日曜日に、富津公民館で「第57回君津地方社会教育推進大会」が開催されます。 館山ふるさと大使・画家の石井崇氏をお招きしまして、「南スペインから見た地域活性化へのヒント」というテーマで記念講演をいただきます。 なお、この大会で社会教育に貢献された方々への表彰が行われますが、富津市公民館運営審議会委員を長年務めていただいている渡邊直樹委員と大河原紀子委員が表彰されることになりました。 今後とも、富津市の社会教育にご協力いただきたいと思いますので、改めてよろしくお願いたします。 事務局からは以上となります。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>ありがとうございました。 委員の皆さまからは何かございますでしょうか。</p>
<p>當眞委員</p>	<p>現在、市民会館の職員が会計年度任用職員のみになっていますので、正規職職員、できれば社会教育主事などの資格職を配置していただきますよう、平野教育部長にご尽力いただきたいと思います。</p>

<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>ありがとうございます。 他の委員の皆さんからは何かございますでしょうか。</p>
<p>大河原委員</p>	<p>市民会館についてですが、ホールはいつから使用することができますか。</p>
<p>(事務局) 平野公民館長</p>	<p>ワクチンの集団接種が終了したため、ホールは1月から使用できる状態になっております。 ただ、今後は確定申告の会場として使用する場合があります。</p>
<p>大河原委員</p>	<p>それでは、ホールは来年度以降も使用できるということによろしいでしょうか。</p>
<p>(事務局) 平野公民館長</p>	<p>今のところ、ワクチン集団接種の担当課からは連絡がありませんので、通常どおり貸館をいたします。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>他には何かありますか。 それでは、他に無いようですので、進行を事務局へお返しします。 ご協力ありがとうございました。</p>
<p>(事務局) 平野公民館長</p>	<p>慎重なご審議をいただきまして、ありがとうございました。 先ほどありました、埋立記念館につきましては、今後も審議を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。 以上をもちまして、令和4年度第3回富津市公民館運営審議会を閉会いたします。 ありがとうございました。</p>
	<p>(午後3時2分 閉会)</p>